

国でも特許を取得した豊田佐吉が発明したG型自動織機の実動も見る事ができるおすすめスポットです。名古屋は、伝統と革新が融合した魅力的な都市であり、訪れる人々に多様な体験を提供しています。多くの皆様の参加をお待ちしています。

会 期：2026年5月29日(金)・30日(土)

会 場：ポートメッセなごや

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、会長特別企画、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、市民公開講座

問い合わせ先：第28回日本医療マネジメント学会学術総会
事務局 トヨタ記念病院 経営支援・デジタル

変革グループ

担当：藤井慎二

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1

TEL：0565-28-0100(代表)

FAX：0565-24-7175(代表)

E-mail：toyotamh-jhm2026@mail.toyota.co.jp

運営事務局 株式会社コングレ中部MICE事業部

担当：三輪賢人

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1

名古屋栄ビルディング7F

TEL：052-950-3430 FAX：052-950-3370

E-mail：jhm2026@m.congre.co.jp

講習会 開催報告

2024年度医療福祉連携講習会を受講して

社会医療法人康陽会中嶋病院地域連携室 齊藤 守

2025年の日本医療マネジメント学会学術総会の運営をお手伝いする事となり、初めて学会のホームページを拝見した際に医療福祉連携士の存在を知りました。私自身が医療と福祉を繋げる窓口を任せられたのが2年前。手探りで法人内外機関とやり取りを続けてきましたが、正に自分自身の役割を深めていくのに最適な学びの機会だと思い研修参加を決めました。オンライン講義では広範囲・長時間の講義でしたが、講師の先生方の丁寧なご説明で自分に不足していた医療面での学びを深められました。1月の対面研修では全国の同志と意見交換もでき、参加者の皆さんから沢山パワーを頂きました。

また、実習科目では近隣の2病院様にご協力を頂きました。私自身福祉施設勤務が長く、学生時代を含め病院実習は初めての経験でした。普段やり取りのある

病院様での学びは、今後スムーズに連携を図っていく為にも大変有意義な経験となりました。各々の病院・施設が持つ役割や特徴をお互いに把握し、地域で暮らす方々に安心を提供していく事が地域連携の醍醐味であると感じました。一人の力・一つの事業所だけで支えるのではなく、地域での繋がりを強化し皆で支え合っていく姿が今後の医療・福祉現場では必要不可欠です。私自身、医療福祉連携士としてその一端を担っていただくと新たな志を持た研修でした。新たな出会い・刺激の場を提供頂きまして、誠にありがとうございました。

2024年度医療福祉連携講習会を受講して

医療法人華林会村上華林堂病院

地域連携室 竹内直美

私は、入退院支援看護師として地域連携室に所属し勤務しています。主な業務は入院時支援の前方支援を行っていますが退院支援にも携わっています。

入院してこられる患者さんは病気を患っているだけでなく退院後、住み慣れた場所、地域で生活を継続する上で家族背景や環境など様々な問題を抱えている患者さんが数多くおられます。退院支援・退院調整を行うにあたり、安心して安全に退院後、日常生活を送ることができるようその患者さんに合ったフォーマルな社会資源やインフォーマルなサポートの支援を行いたいと感じていました。

そんな中、たまたま受講した研修で日本医療マネジメント学会に「医療福祉連携士」という認定の資格があることを知り、より多くの知識を学ぶ為、講習会への参加を決めました。第1クールから第4クールまではWebでの講義でしたが第5クールで初めて13期生受講生の皆さんと顔を合わせることができました。グループワークではひとつのテーマに対して自分だけでは思いつかないような考えを知ることができただけでなく同じ目標を持つ学びの場に参加したことはとても貴重な時間となりました。

この度、医療福祉連携士の認定を取得することができ、学んだことを活かすことができるよう今後も努力を怠ることなく、患者さんやその家族に寄り添った支援を行っていきたいと思っています。

支部学術集会開催報告

第18回山形県支部学術集会

学術集会会長：米沢市立病院病院長 長岡 明

2024年10月12日(土)に、日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会を米沢市立病院隣接アメニティ